

「愛、そしてアンパンマン」

董組 A.N.

私の初恋の話をしたと思います。私の初恋の相手は小さいころから大好きだった「アンパンマン」というアニメに出てきます。アンパンマンのお話はみなさん知っていると思います。アンパンで顔ができて、空飛ぶ正義の味方、アンパンマンが町のパトロールをして平和を守っていくというお話です。そのアンパンマンの顔をつくっているのがジャムおじさんです。私はジャムおじさんが大好きでした。みんなのことをあたたかく見守っている優しさに恋をしていたのだと思います。

ちなみに私はそれが原因だと思いますが、一度も行ったことのないパン屋のおじいさんにバレンタインデーのチョコレートを渡したいと言ったことがあります。

そんなことを最近、三歳の親戚の子と「アンパンマン」をみて思い出しました。小さいころは単純に大好きだったアンパンマンを改めて見てみると考えさせられることがたくさんありました。

まず、アンパンマンはとても弱いということに驚きました。顔がぬれるだけで元気がなくなってしまう。すると、「顔がぬれて力が出ない～」と情けない声を出しながらヘナヘナと座りこみます。顔にカビがついてしまっても同じことになります。そうなったらジャムおじさんに新しい顔を焼いてもらわないと元気になりません。1話に1度は新しい顔を焼いてもらっています。

それから、愛がたくさんある作品だなと思いました。ここで愛について考えてみることにしました。愛にはたくさんの種類があります。一番わかりやすいのが男女の愛です。それに家族の愛があります。なさけの愛や尊敬の愛もあります。アンパンマンの話に例えてみましょう。ドキンちゃんからショクパンマンへの愛は男女の愛です。ロールパンナちゃんとメロンパンナちゃんには家族の愛があります。非常にマイナーですが中身を食べられて元気をなくしてしまった天井マンに、普段ライバルであるかまめしどんが中身を分けてあげるのはなさけの愛です。ホラーマンがバイキンマンに対する態度には、尊敬の愛があります。

アンパンマンの愛とはなんでしょう。あるアンパンマンの映画で、キララ姫というお姫様がアンパンマンに恋をして、「好きです」と告白をしました。なんとアンパンマンは「僕も好きだよ」と言ったのです。私はアンパンマンも恋をするのか、と驚きました。しかしアンパンマンはその直後に笑いながら「僕はみんなのことが好きだよ」と言ったのです。アンパンマンの中に男女の愛はありませんでした。その代わりアンパンマンにはちがう愛がありました。お腹が空いたと泣いている子のそばに行き自分の顔をちぎってあげるのです。顔がかけると力が弱くなって元気がなくなってしまう。しかし、何のためらいもなくお腹が空いた子のことを最優先に考え、笑顔であげるのです。アンパンマンは困っている人がいたら差別をせずに、利益を考えずに自分を犠牲にしてでも助けます。これは究極の愛だと思います。アンパンマンは弱いけれど強い愛を持っているのです。

アンパンマンの愛とはなんでしょう。私はアンパンマンの愛はイエス様の愛だと思っています。十字架にかけられ自らを献げ、人々を救って下さったイエス様とどこか似ていると思ったからです。

私はアンパンマンになれるでしょう。こんな愛を持ったおとなになることができるでしょう。きつとなれます。なぜならアンパンマンはこう歌うからです。「アンパンマンは君さ」と。